

自然環境を生かし文化と交流を はぐくむ安全・安心な町づくり

町民の皆様、あけましておめでとうございませう。

皆様には、ご家族おそろいで希望に満ちた新年をお迎えのことと思ひ、心からお慶び申し上げます。また、日ごろから町の行政運営全般にわたって、温かいご理解とご協力をいただき、改めて厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の出来事を表す代表的な言葉として、「なでしこジャパン」が大賞に選ばれました。これは、昨年6月から



甲佐町長 奥名 克美

7月にかけて開催されたサッカー女子ワールドカップにおいて、悲願の優勝という大偉業を成し遂げたサッカー女子日本代表チームの愛称です。日本を襲った「東日本大震災」や今日の円高に伴う経済低迷の影響を大きく受けた日本において、国民に元氣と勇氣を与えてくれたことが高く評価されました。反面、「3・11」や「絆（きずな）」など、かつて国民が経験したことのない未曾有の大災害である「東日本大震災」に関連する言葉も、大賞候補として上位にノミネートさ

れました。

震災発生後、半年以上が経過しましたが、復旧・復興ならびに被災者の支援にあたっては、国民全体の連帯が必要であり、国の再生に向けた取り組みについて真価が問われるといっても過言ではありません。また、各自自治体としても最大限その力を発揮して、できうる限りの支援の輪を広げていくことが大事だと考えます。本町からも、「チーム熊本」の一員として、これまで9人の職員が宮城県東松島市で支援活動に従事いたしました。改めて犠牲になられた方々に対しては、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災地の一刻も早い復旧・復興を願うものであります。

ところで今日、地方を取り巻く状況は、低迷を続ける経済情勢による税収の減収や、基幹産業である農林水産業の衰退などにより極めて厳しく、またTPPの議論の進展によつては一層深刻な状況となることが懸念されています。

そういった中で、町民の皆様の温かいご支援とご協力によつて、昨年9月から引き続き2期目の町政運営を預かることになりました。町民の皆様が、この「甲佐町」に誇りと愛着を持ち、「この町に住んでよかった」と言っていた、だけのよ

力に溢（あふ）れるまちづくり、②安心・安全なまちづくり、③健康と人を育（はぐく）むまちづくり、④協働で支えるまちづくり、この4本の柱を基本とした新たな33項目の政策マニフェストの達成に向けて、今後も精一杯取り組んでまいります。

中でも、定住促進をさらに進めるための子育て支援の継続に加えて、今後の大きな政策テーマとして、先ほど述べた「東日本大震災」に学び、本町においては、生活水の確保や洪水時における内水対策、あるいは防災組織の拡充など、ハード・ソフト両面から「災害に強い町づくり」を進めていく必要があると考えています。また、清流・緑川に抱かれた本町の浄化にも力を入れなければなりません。

自治体を取り巻く地域間競争が激化する中で、まだまだ課題は山積してありますが、新しい年を迎えるにあたり、これからも初心忘れることなく引き締めて、町民の皆様から寄せられた期待に応えるべく、引き続き強い信念と情熱を持って、また町職員と一丸となって「甲佐町再生・セカンドステージ」を展開させてまいります。

町民の皆様、また議会の皆様には、今後ともご指導とご支援のほどよろしくお願いを申し上げますとともに、町民の皆様にとつて良き年でありませうに、ご祈念申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

そこで、平成23年度からスタートした「甲佐町第6次総合計画」を基に、①活

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成24年の年頭にあたり、甲佐町議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、新たな期待と希望をもって、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、議会に對しまして温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、2月に本町議会議員の一般選挙が行われ、3月からは新議員を含む12名の議員によりまして、町民の皆様の負託に応えられるよう、新たな気持ちをもって議会運営を行っています。

さて、国の内外の情勢を見ても、未曾有の大災害となった、3月11日の東日本大震災や円高の問題、ヨーロッパ発



新年のご挨拶

甲佐町議会議長
本田 新

ユーロ安の世界的な不況、TPPの問題など、我が国を取り巻く環境は厳しいものがある中、我が甲佐町では奥名町政の2期目が始まり、第6次総合計画や新たなマニフェストが示されました。議会は、町民の方々の視点から、機関の事務事業全般を監視する責任を負っています。

よって、執行部が進める行財政改革の中で、行政サービスの低下を招かないよう、町民の皆様の声を大事にしていくとともに、町民の皆様の代表であることを強く自覚し、日々研鑽に努め、開かれた議会づくりを目指していきたいと思っております。

今後とも、ご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

町民の皆様にとりまして、実り多き年でありますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

夢あふれる 教育の創造を

甲佐町教育長
赤星 眞照

新年明けましておめでとうございます。学校教育をはじめ社会教育において、地域の方々のご理解、ご協力、ご支援をいただいておりますことに、心から厚くお礼申し上げます。

今年、4月から小学校に引き続き、中学校の新しい学習指導要領が完全実施されます。授業時間が増加し、学習内容も充実し、教科書も厚くなります。子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育が充実するよう、学校現場を支援してまいります。

ところで、子どもの豊かな心の育成のためには、豊かな自然体験が必要です。

活動が豊富な子どもほど、道徳観や正義感に富む子どもが多いとのデータもあります。その点からも、学校教育、社会教育が一体となつて、本町の恵まれた自然環境を生かした取り組みや環境教育などを生かしていくことが、豊かな心の醸成、そして学力の基盤を作ると考えています。

さて、現在、甲佐中学校の改築工事が、平成25年の竣工を目指して進められています。今しばらく、子どもたちには不便をかけることも多いかと思いますが、学校教育活動に支障がないように、学校と町教育委員会が一体となつて、子どもたちの確かな学びを進めていきたいと考えています。

今後とも、21世紀を担う甲佐っ子が、心豊かに健やかに成長するよう、「認め、ほめ、励まし、鍛え、伸ばす」を教育活動の行動指標として、甲佐の教育を推進してまいります。

